

2024 年 9 月 24 日発行

## Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 141 「記憶と食の繋がり」 小林 正法 (山形大学)

### 1) 学会からのお知らせ ( <https://kenkoshimri.jp/> )

■日本健康心理学会第37回大会 (11月23~24日@別府大学) のお知らせ (vol.8) (日本健康心理学会第37回大会準備委員会より)

1. 大会HPをご確認ください  
プログラムを発表しました。
2. 参加及び懇親会の登録をお願いします
3. 基調講演の案内  
「支援者支援」について、大分県こころとからだの相談支援センター所長の土山先生に講演頂きます。
4. ポスターセッションの案内  
予告どおり、ワイン片手にディスカッションしていただきます。時間帯は、両日共に夕方の時間です。楽しいセッションになればと思います。

■第8回公認心理師試験のお知らせ (事務局より)  
公認心理師試験研修センターより第8回公認心理師試験のお知らせがありました。  
[https://www.jccpp.or.jp/shiken.cgi#exam\\_001\\_anchor\\_06](https://www.jccpp.or.jp/shiken.cgi#exam_001_anchor_06)

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の9月記事のお知らせ (国際委員会より)  
“The importance of assessing clients' coping strategies”の日本語記事「クライアントのコーピング方略をアセスメントしましょう」が掲載されました。

<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2020/03/the-importance-of-assessing-clients-coping-strategies/>  
※アクセスの際には、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご高覧ください。  
※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

■2024 年度日本健康心理学会本明記念賞 (本明記念賞選考委員会より)  
以下が受賞作に選ばれました。年次大会で授賞式とスピーチが予定されています。  
加藤 舞ほか、2023 新型コロナウイルス感染症の異なるヘルスリテラシーが健康行動及び実生活へ及ぼす影響に関する検討 36(1), 11-20  
森石 千尋ほか、2023 新規学卒就職者における強化感受性の差異と職場ストレスとの関連 36(1), 21-31

### 2) 外部連携団体からのお知らせ

■厚生労働省「Good Sleep ガイド (ぐっすりガイド) について (健康日本21 推進全国連絡協議会より)  
「新・健康づくりのための睡眠指針」と連動した行動・習慣改善ツールが公開になりました。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/suimin/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/suimin/index.html)

■2025 年度「共創ラボ」募集のお知らせ (日本心理学諸学会連合より)  
理化学研究所 脳神経科学研究センター (CBS : <https://cbs.riken.jp/jp/index.html>) では、昨年度と同様に今年度も知の共創プロジェクト「共創ラボ」を募集いたします (1 件あたり最大 500 万円/年)。

募集締切: 9 月 30 日 (月)  
日: <https://cbs.riken.jp/jp/news/2024/kyosolab/>  
英: <https://cbs.riken.jp/en/news/2024/kyosolab/>

■心理学検定のお知らせ (日本心理学諸学会連合より)  
詳細については、下記 URL よりご確認ください。  
<https://jupaken.jp/>

■日本心理医療諸学会連合 UPM 第36回大会について (日本心理医療諸学会連合より)  
大会テーマ: 「医療・保健と心理学とをつなぐストレスマネジメント」  
ホームページ: <https://upm.ac/index.html> (近日、参加申し込みが始まります)  
会期: 2024 年 11 月 17 日 (日) 8:50~16:40  
会場: オンライン (リアルタイム配信・一部オンデマンド配信予定)

### 3) 健康心理学コラム Vol. 141

「記憶と食の繋がり」  
小林 正法 (山形大学)

私の専門領域は記憶で、特に忘却や懐かしさといった研究テーマを扱っています。実は、私は美味しいものを食べることが昔から好きで、食べたり作ったりしています (最近ではスパイスカレーなどを作ったりしています)。このように「食」に強い関心があったので、院生の頃から「食」に関する研究をしたいと目論んでいた。残念ながら、記憶と食をうまく繋げることができず、機会に恵まれないままでした。そのような中で、少し前に、忘却が価値を低下するという devaluation に関する研究を知りました (Vivas et al., 2016)。私は食べ物の美味しさも価値の 1 つであれば、devaluation の対象にできるのでは? と考えました。このような着想を元に、念願が叶って、忘却が食物の美味しさを低下させるという記憶と食を組み合わせた研究を行うことができました (例えば、小林他, 2022)。いまはまだ主観的な評価 (美味しそうに見えるかどうか) しか扱っていませんが、将来的には摂食評価も扱っていければと考えています。

#### 引用文献

Vivas, A. B., Marful, A., Panagiotidou, D. & Bajo, T. (2016). Instruction to forget lead to emotional devaluation. *Cognition*, 150, 85-91.  
小林 正法・大竹 恵子・井上 和哉 (2022) 指示忘却による食物評価の低下とその特徴, 日本認知心理学会第20回大会

-----

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < [jahp@pac.ne.jp](mailto:jahp@pac.ne.jp) >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < [jahp@pac.ne.jp](mailto:jahp@pac.ne.jp) >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<https://kenkoshinri.jp/health/health1.html#mailmaglist>